

## 第1学年 英語科学習指導案

日時 平成15年11月5日(水) 5校時  
場所 浄法寺町立浄法寺中学校  
学級 1年A組男子18名女子18名 計36名  
指導者 千葉 進

### 1 単元名 Unit 8 旅立ちの日 (NEW HORIZON English Course 1 東京書籍)

#### 2 単元について

##### (1) 教材について

Unit 8 - Unit 10までは由美、健、マーク、デミの4人が冬休みにオーストラリアを旅行する設定となっている。そしてUnit 8は彼らが日本を発つ当日の朝の場面である。言語材料は、Unit 8 - では、Where...?の文と応答の形・意味・用法を学習する。Unit 8 - では、Whose...?の文と応答の形・意味・用法を学習する。Unit 8 - では、人称代名詞の目的格について学習する。

##### (2) 生徒について

生徒は、4月からこれまでの学習の中で、be動詞および一般動詞の現在形(一人称、二人称、三人称)を主に学習してきている。その中で、音と綴りの関連を意識しながら英語を発音・音読・ディクテーションをすることは、文を読み取る際にはまず動詞の位置と意味を捉え、英語を単語の羅列ではなく語のまとまりとして話し相手に伝えたい情報は強調して発音すること、などを学んできている。本学級は、男子18名、女子18名から成り、英語の学習意欲や指示・問いかけに対する反応は女子の方が比較的良好。

##### (3) 指導について

本単元は、由美、健、マーク、デミの4人が冬休みにオーストラリア旅行へ出発するまでの設定となっている。海外旅行という生徒にとって興味深い題材でもあるため興味・関心をもって取り組めるよう指導する。ペア活動をあわせてアイコンタクトをすることを大切にしながら恥ずかしくなくコミュニケーションすることの大切さを指導する。展開場面では、ペアワークにより、本時の目標文が自然に使用されるような場面を工夫して指導をしたい。また学習シートでもものがどこにあるのかを尋ねる文を適切に「書くこと」ができるようにしたい。また最後の段階では、自己評価で学習の振り返りを行い、達成感と今後の学習に対する意欲を高めていきたい。

### 3 単元の指導目標及び評価規準

#### (1) 単元の指導目標

[ コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ]

・ 初歩的な英語を用いて、自分のことを表現したり、相手からの情報を得たりする活動に積極的に取り組もうとすることができる。

[ 表現の能力 ]

・ 疑問詞WhereとWhoseを使った基本文が言え、ペアワークの対話の中で正しく使うことができる。

・ 代名詞の目的格him/herを、ペアワークの対話の中で使うことができる。

[ 理解の能力 ]

・ 疑問詞WhereとWhoseを用いて尋ねられた内容を聞き取り、適切に応答することができる。

[ 言語や文化についての知識・理解 ]

・ 代名詞について、主語として用いる主格、所有格のそれぞれの意味や適切な形で説明できる。

(2) 評価規準

時	単元	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	ものをさがそう (本時)	ものがどこにあるのかを尋ねる表現を積極的に使うことができる。		Where...?の文と応答の形・意味・用法を正確に理解できる。	
2	だれのもの?	ものの持ち主について尋ねる表現を積極的に使うことができる。	Whose...?を使った文が言え、ペアワークの対話の中で正確に使うことができる。	Whose...?の文と応答の形・意味・用法を正確に理解できる。	
3	あの人が知っている?	人について尋ねる表現を積極的に使うことができる。			代名詞の目的格him/herの使い方についての基礎的な知識を身につけている。
4	まとめの練習2		主格、所有格、目的格をそれぞれに適切に使うことができる。		主格、所有格、目的格のそれぞれの意味や適切な形が説明できる。
5	Listening Plus 3			空港や機内での典型的対話を聞いてポイント正しく聞き取ることができる。	空港や機内での典型的対話についての基礎的な知識を身につけている。

4 指導計画 (5時間扱い・・・本時1/5)

主な学習内容	指導目標	評価方法	時間
ものをさがそう (本時)	・ものがどこにあるか尋ねたり、それに答えたりすることができる。 ・Where...?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。	授業観察 学習シート	1
だれのもの?	・ものの持ち主について尋ねたり、それに答えたりすることができる。 ・Whose...?の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。	授業観察 学習シート	1
あの人が知っている?	・人について尋ねたり、それに答えたりすることができる。 ・人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解し、表現できる。	授業観察 学習シート	1
まとめの練習2	・人称代名詞の主格、所有格、目的格をそれぞれに適切に使うことができる。 ・人称代名詞の主格、所有格、目的格のそれぞれの意味や適切な形が説明できる。	授業観察 学習シート	1
Listening Plus 3	・空港や機内での典型的対話を聞いてポイントを正しく聞き取ることができる。 ・空港や機内での典型的対話についての基礎的な知識を身につけている。	授業観察 学習シート	1

5 本時の指導について

(1) 本時の目標

- ・ものがどこにあるのかを尋ねる表現を積極的に使おうとすることができる。  
 <コミュニケーションへの関心・意欲・態度>
- ・疑問詞Where...?の文と応答の形・意味・用法を正確に理解できる。  
 <理解の能力>

( 2 ) 本時の展開

段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点 ( 評価の観点及び評価の方法 )
導入	10分	1 Greetings 2 Warm up 3 今日の学習課題を確認する。  ものがどこにあるのかを尋ねたり、それに答えたりすることができるようにしよう。	・英語で挨拶 ・既習事項の復習として教師と簡単な英会話を行う。	・英語学習の雰囲気をつくる ・できる限り素早く応答させる。 ・ものがどこにあるのかを尋ねたり、それに答えたりする学習であることがわかるようにPCカードを効果的に活用する。
展開	30分	4 新出単語の確認 本文の音読練習 5 本文を基に、ペアワークで音読練習を行う。 6 本文の内容確認 7 インタビュー ( 本文の発展練習 )	・教師の後に続いて一文ずつ音読させる。 ( × 2 ) ・個人で全体を通読する。( × 3 ) ・隣の生徒とRole playを行う。( × 2 ずつ ) ・PCカードを見ながら本文の内容についての質問に答える。 ・ペアになり相手に質問をする。	・FCを用いてできるだけスピーディーに発音できるようにする。  <読む・表現> ・教科書の本文の状況が伝わるように音読することができる。  <聞く・理解> ・Whereを用いた疑問文を聞き取って応答し、その内容を理解することができる。  <話す・関・意・態> ・積極的にインタビューしたり、応じようとしている。
終結	10分	8 Consolidation まとめ  ものがどこにあるのかを尋ねたり、それに答えたりすることができるようにしよう。 9 Homework	・学習シートにインタビューでわかったことをまとめる。 ・課題p.70の予習。 ・次時はp.70。	・机間指導を行い、学習の遅れがちな生徒を支援する。

( 3 ) 本時の判断基準

	十分満足できる ( A )	おおむね満足できる ( B )	Bに至らない生徒への対応
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワークの活動で、相手の話すことに興味を向ける。理解しにくいときは内容を説明し、質問を返したりして、コミュニケーション活動が途切れることのないよう、会話を続けようとしている。	ペアワークの活動で、相手の話すことに耳を傾け、学んだ表現を使って、コミュニケーション活動を続けようとしている。	ペア学習の際に机間指導を行い、支援する。
理解の能力	Whereを用いた疑問文について発音や問いかけの明瞭・不明瞭に関わらず、相手の話すことをしっかりと聞き取り、聞き返したり、聞き直して正確に回答し、その内容を正しく学習することができ、学習シートに書き込むことができる。	Whereを用いた疑問文を聞き取って応答し、その内容を学習シートに書き込むことができる。	ペア学習の際に机間指導を行い、支援する。

( 4 ) 板書計画

Unit 8 旅立ちの日

本時の学習課題

ものがどこにあるのかを尋ねたり、それに答えたりすることができるようにしよう。

新出単語 late where ticket wallet under chair cap head desk  
where's = where is

目標表現

Where is my book ?  
It is on the desk.

P C

P C

5 本時の評価の観点

- ・ものがどこにあるのかを尋ねる表現を積極的に使おうとすることができる。
- ・疑問詞Whereを使った基本文が言え、ペアワークの対話の中で場所を示す前置詞の使い分けができる。

学習課題

新出単語

日本語は英語に、英語は日本語に

Name \_\_\_\_\_

late \_\_\_\_\_

cap \_\_\_\_\_

where \_\_\_\_\_

いす \_\_\_\_\_

ticket \_\_\_\_\_

机 \_\_\_\_\_

wallet \_\_\_\_\_

where isの

head \_\_\_\_\_

短縮形

~の下に \_\_\_\_\_

by \_\_\_\_\_

on \_\_\_\_\_

目標文

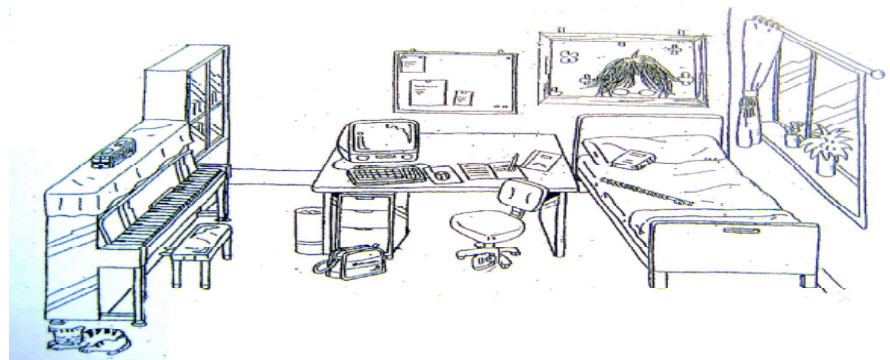
( ) is my book ?  
私の本はどこにありますか。

It is ( ) the desk.  
机の上にあります。

使ってみよう！ <guitar, soccer ball, ticket> がどこにあるのかを探そう！

下の絵について、例にならって、となりの人と対話しよう。ワークシートAから会話を始めよう。それぞれがどこにあるのかを絵の中に絵で書こう！  
すべて聞き終わったら絵を見比べてチェックしよう。

(対話例) A: Where's my bag ?  
B: It's by the desk.



自己評価欄 (A : 良くできた B : 普通 C : あまり良くできなかった)

- 1 対話に積極的に参加できた。 A B C
- 2 Where... ?を使って場所をたずねることができた。 A B C
- 3 場所を示す前置詞 (by, under, on, in) の使い分けが理解できた。 A B C

学習を振り返って<わかるようになったこと・もっとがんばりたいこと>

学習課題

新出単語

日本語は英語に、英語は日本語に

Name \_\_\_\_\_

late \_\_\_\_\_

cap \_\_\_\_\_

where \_\_\_\_\_

いす \_\_\_\_\_

ticket \_\_\_\_\_

机 \_\_\_\_\_

wallet \_\_\_\_\_

where isの

head \_\_\_\_\_

短縮形

~の下に \_\_\_\_\_

by \_\_\_\_\_

on \_\_\_\_\_

目標文

( ) is my book ?  
私の本はどこにありますか。

It is ( ) the desk.  
机の上にあります。

使ってみよう！ <cat, wallet, book> がどこにあるのかを探そう！

下の絵について、例にならって、となりのひとと対話しよう。ワークシートAから会話を始めよう。それぞれがどこにあるのかを絵の中に絵で書こう！  
すべて聞き終わったら絵を見比べてチェックしよう。

(対話例) A: Where's my bag ?  
B: It's by the desk.



自己評価欄 (A : 良くできた B : 普通 C : あまり良くできなかった)

- 1 対話に積極的に参加できた。 A B C
- 2 Where... ?を使って場所をたずねることができた。 A B C
- 3 場所を示す前置詞 (by, under, on, in) の使い分けが理解できた。 A B C

学習を振り返って<わかるようになったこと・もっとがんばりたいこと>